



寒い冬はお家でのんびり読書 冬休みにもおすすめ



■ 1・2年生におすすめ

ふたりはいつも

（作：アーノルド・ローベル 出版社：文化出版局）

仲良しがまくんとかえるくんのなんと楽しい冒険物語。
シリーズで出されていますが、こちらは、「そりすべり」「クリスマス・イブ」など冬にぴったりのお話が5つ。
どれも短いお話なのでよみやすいです。

十二支のおはなし

（分：内田麟太郎 出版社：岩崎書店）

お正月に神様のところへあいさつに行くことになった動物たち。ちゃっかりもののねずみは牛の背にのり、門の前で一足先にゴールイン。一番最初はねずみ年になった…。どうして、十二支はこの順番になったのかな？お話を楽しみながら学べます。

ほかには・・・おばけのアッチねんねんねんね（作：角野栄子 ポプラ社）・14ひきのもちつき（作：いわむらかずお 童心社）・てぶくろをかいに（作：新美南吉 金の星社）など

■ 3・4年生におすすめ

グレッグのダメ日記 さすがにへとへとだよ

（作：ジェフキニー 出版社：ポプラ社）

今日はとても寒くて、朝学校まで歩くのが楽しなかったよ。なんとか気分を盛り上げるために、冬の好きなことを思いうかべてみたけど、少ししか思いつかない。クリスマス以外は、ただ春がくるまでの、つらい毎日だ。いま世界でも人気のある「グレッグのダメ日記」シリーズから冬が舞台の1冊です。

魔女のすてきな冬じたく

（監修：あんびるやすこ 出版社：ポプラ社）

魔女の遺産を相続した人間の女の子、ジャレット。ジャレットはあとつぎとして、「ハーブの薬屋さん」になり、村の人や、動物たちなどに、毎日、お薬をつくっています。木々の葉が、さまざまに色づく秋。ジャレットは、いつもとはちょっとちがう、とくべつな冬じたくをはじめることになりましたが……

ほかには・・・はれときどきぶた（作：矢玉四郎 岩崎書店）・大どろぼうっツェンプロッツ（作：ポロイスラー 偕成社）・チョコレート戦争（作：大石真 理論社）など

■ 5・6年生におすすめ

クリスマスキャロル

（作：チャールズディケンズ 出版社：新潮社）

クリスマスの前夜、お金もうけにしか興味のない冷酷なスクルージの元に順番にやってきた三人の幽霊。幽霊が見せたのはスクルージの「過去」「現在」「未来」。
はたしてその風景とは？そしてそれを見たスクルージに起きた変化とは？

ふたりのえびす

（作：高森美由紀 出版社：フレーベル館）

青森県八戸市の郷土芸能「えんぶり」のえびす舞の踊り手に抜擢された太一。クラスでは明るいおちゃらけキャラを演じているがその心は複雑。「王子」と呼ばれ女子から人気の高い、大路優希とふたりでえびす舞の練習をするなかでたがいの気持ちをぶつけ合う。最後にふたりがつかんだものとは？

ほかには・・・ムーミン谷の冬（作：ディビットリッチフィールド ポプラ社）・僕の弱虫なおすには（作者：KL ゴーイング 徳間書店）・きかせたがりやの魔女（作：岡田淳 偕成社）など

さむい冬はぜひ、のんびりと本の世界を楽しんでね。